

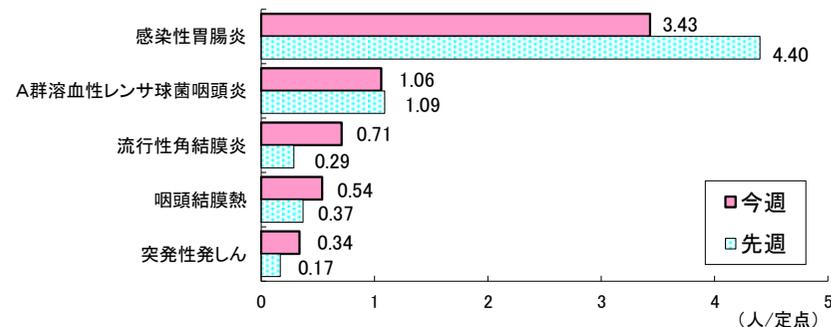


【第25週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で22%減少しています。保健所別では、北秋田、由利本荘で増加、秋田市、大館、能代、秋田中央、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で3%減少しています。保健所別では、秋田市、大館、能代で増加、横手で同規模、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で2.4倍に増加しています。保健所別では、横手で増加、秋田市で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減			
RSウイルス感染症	0.17	0.09	↘	0.43	0.14	↘									0.75	0.50	↘													
インフルエンザ	0.02	0.02					0.14		↘																		0.20	↗		
咽頭結膜熱	0.37	0.54	↗	0.14	0.86	↗	0.50	0.75	↗	0.50	0.50					0.50	↗	1.25	0.50	↘	0.50		↘			0.50	1.25	↗		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	1.06	↘	1.43	2.00	↗	0.25	0.50	↗					1.00	↗	3.25	3.00	↘				1.50	1.00	↘	0.33	0.33		1.75	0.25	↘
感染性胃腸炎	4.40	3.43	↘	6.00	3.29	↘	10.50	7.50	↘	2.50	6.50	↗	7.67	5.33	↘	2.25	1.75	↘	0.25	1.50	↗	1.50	0.25	↘	3.00	2.67	↘	4.25	4.00	↘
水痘	0.11	0.26	↗	0.14	0.14			0.75	↗		1.00	↗		0.33	↗	0.25		↘				0.25	0.25		0.33	0.33				
手足口病	0.11	0.03	↘	0.14		↘													0.50	0.25	↘				0.33		↘			
伝染性紅斑		0.03	↗																			0.25	↗							
突発性発しん	0.17	0.34	↗	0.29	1.14	↗	0.50	0.50			1.00	↗										0.50	↘							
ヘルパンギーナ	0.03	0.03																							0.33	↗	0.25		↘	
流行性耳下腺炎	0.03	0.03																				0.25	0.25							
川崎病																														
急性出血性結膜炎		0.29	↗							*	*		*	*		*	*								2.00	↗	*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.71	↗	0.67	0.33	↘				*	*		*	*		*	*								4.00	↗	*	*		
細菌性髄膜炎		0.13	↗													*	*					1.00	↗							
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	1.75	1.00	↘							5.00	5.00					*	*					3.00	1.00	↘				6.00	2.00	↘
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.13	0.50	↗		1.00	↗		1.00	↗							*	*								1.00	2.00	↗			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から2人、秋田中央保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から2人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
・五類感染症のウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)が秋田市保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が横手保健所管内から1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-24週		25週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	9563	49	6
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
三類	コレラ		2	
	細菌性赤痢	87		
	腸管出血性大腸菌感染症	792	2	
	腸チフス	18		
	バラチフス	10		
	四類	E型肝炎	182	
ウエストナイル熱				
A型肝炎		416		
エキノкокクス症		5		
黄熱				
オウム病			3	
オムスク出血熱				
回帰熱				
キャサナル森林病				
Q熱			1	
狂犬病				
コクシジオイデス症			1	
サル痘				
ジカウイルス感染症				
重症熱性血小板減少症候群		35		
腎症候性出血熱				
西部ウマ脳炎				
タニ媒介脳炎		1		
炭疽				

類型	疾患名	1週-24週		25週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱		1	
	つつが虫病	84		2
	デング熱	59		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	67		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	フルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	2		
	マラリア	21		
	野兔病			
	ライム病			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	644		1	
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	371		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	91	1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	745	3	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	9		
	急性脳炎	352	4	
	クリプトスポリジウム症	10		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	95	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	362	4	
	後天性免疫不全症候群	566		
	ジアルジア症	35		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	230	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	18		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1907	10	1
	水痘(入院例に限る)	192	5	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	2903	3	
	播種性クリプトкокクス症	82		
	破傷風	42		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	24		
	百日咳	2311	17	
風しん	35			
麻しん	170			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9			

トピックス

<水痘(水ぼうそう)に気をつけましょう>

“水ぼうそう”とも呼ばれる水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルスに感染することで発症する小児の代表的なウイルス性発疹症の1つです。感染力は極めて強く、水痘の内容物に触れただけではなく、空気感染でも拡がるため、保育園や小学校等で集団感染を起こすことがあります。季節を問わず発生しますが、近年は初夏と初冬に報告数が増える傾向があります(図1)。まれに成人が罹患することもあり、小児と比較して重症化しやすいと言われています。全数把握疾患の水痘(入院例)報告数によると、水痘患者の90%以上は9歳以下の小児であるにも関わらず、重症化して入院を要した患者の半数近くは成人が占めていました(図2)。

■症状

感染すると2週間程度の潜伏期間の後に、発熱と発疹が現れます。次々に新しい発疹が現れるため、急性期には様々な状態の発疹が混在して見られます。一般的に予後は良好ですが、合併症として肺炎や脳炎を起こす場合がありますので注意が必要です。治癒後もウイルスは身体の中に潜伏し、体調不良や疲労、加齢等で免疫力が低下した際にウイルスが再活性化し、**帯状疱疹**を発症することがあります。

■予防

予防にはワクチン接種が有効です。定期接種化されていますので、対象年齢の小児(1歳の誕生日前日～3歳の誕生日前日までの方)は無料で接種を受けられます。まだ接種がお済みでない方は、医療機関に御相談ください。また、水痘に罹患した場合、学校保健安全法により出席停止が義務づけられているため、**全ての発疹がかさぶたになるまでは学校等を休まなければいけません**ので御注意ください。

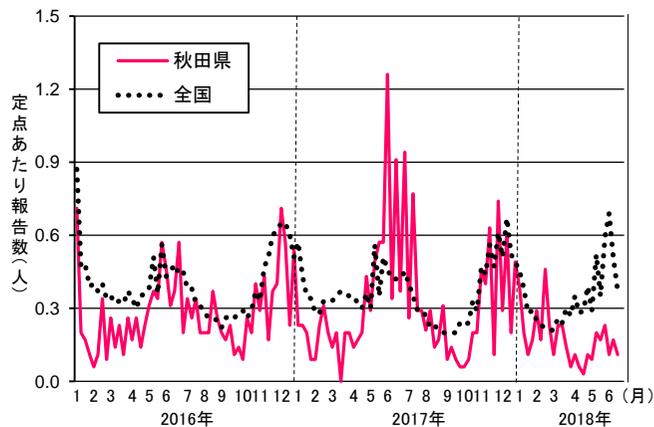


図1 定点あたり水痘患者報告数の推移(第24週現在)



図2 秋田県内から報告された水痘入院患者の年齢区分



感染性胃腸炎情報

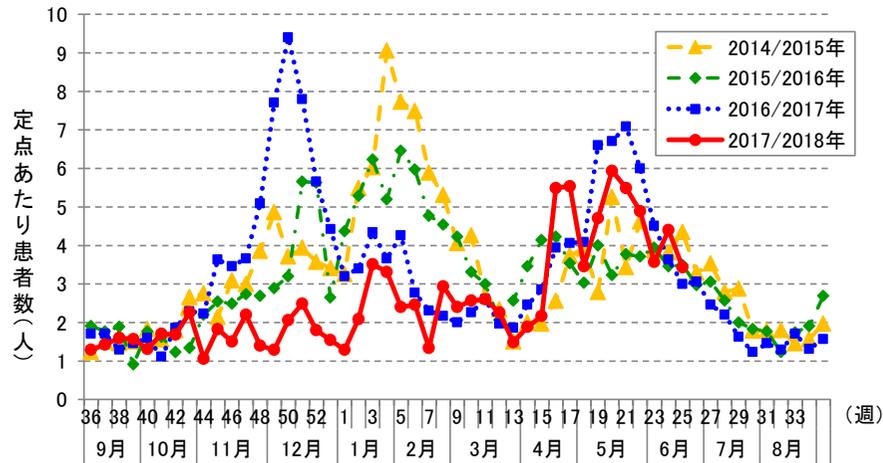


図:秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

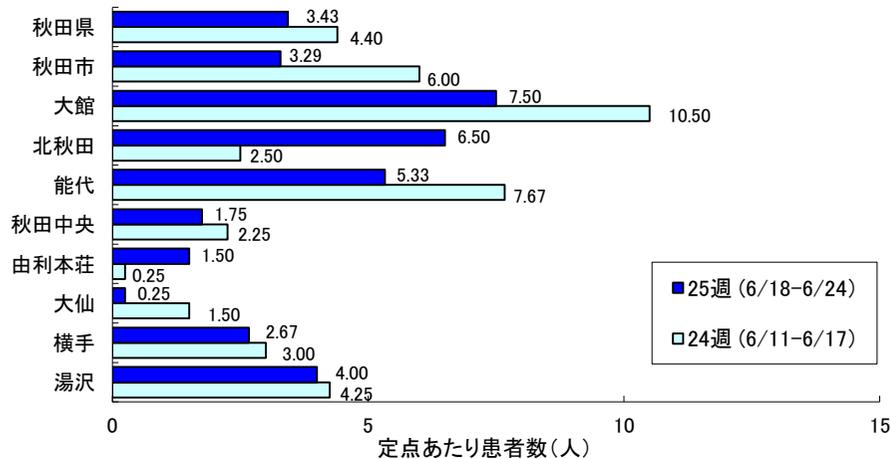


図:秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

No. 22

発生届出日 平成30年6月26日
 受付保健所 大館保健所
 施設名称 花輪さくら保育園
 有症者数 園児176名のうち10名
 把握期間 6月17日から6月26日まで
 症状 嘔吐、下痢

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 22施設 発症者 337名
 <保育所・幼稚園 22>

【参考】

平成29年度 42施設 発症者 637名

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
急性出血性結膜炎	-	横手(2.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		